

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」
令和5年度（2023年度）授業研究(改善)セミナー

道央・外国語 実施報告



令和6年12月8日（金）、北海道札幌北高等学校を会場に「外国語における探究的な学びの充実」「ICTを活用した効果的な学習指導」をテーマとして、外国語（英語）科の授業研究セミナーを開催しました。全道から34名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

実施状況

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事3名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を計3回実施しました。学習指導案検討会では、授業者が作成した単元指導計画及び学習指導案を基に、①単元の目標に準拠した評価や指導のあり方、②外国語の授業における探究的な学びの方法、③ICTを活用した効果的な学習指導の充実について協議を行いました。特に、本学習授業案が探究的な学びとなるような単元の目標の設定と、単元の目標に準拠した指導計画のあり方の重要性を確認し、作成しました。また、授業研究チームの各先生方が、今後の授業で取り入れることのできる具体的なアイデアを得る機会にもなりました。

【研究授業(実践発表)】北海道札幌北高等学校 小関 隼教諭

外国語科（英語コミュニケーションⅡ）のLesson10 Physics Goes a Long Wayにおいて、「物理学者ミチオ・カク氏のスピーチを読み、物理学と私たちの日常生活の関係性、彼が物理学に興味を持ったきっかけ、現在も興味を引きつける魅力を理解し、本単元の表現を応用して、自分の好きな教科をクラスメイトにより興味をもってもらうスピーチを行う」ことを単元の目標として、研究授業を行いました。この授業の中で、生徒たちは1人1台端末を用いて、スプレッドシートに自分の好きな教科についての情報を入力し、他の生徒たちと共有しながら、発表の原稿を作成しました。ペアで発表してから、お互いの発表を端末で録画しあい、Google Classroomで提出しました。なお、本研究授業は、セミナー当日実施することができなかつたので、後日録画したものを配信する形式で行いました。



[学習指導案リンク](#)

【公開授業】北海道札幌北高等学校 佐々木 亮介教諭、田中 めぐみ教諭

研究授業セミナー当日に研究授業を行うことができなかったため、急遽、札幌北高校の2名の外国語科教諭に公開授業をしていただきました。

【発表】「探究的な学びの授業デザイン」（北海道札幌南高等学校 佐々木 雄教諭）

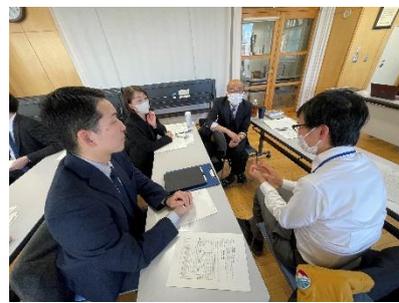
単元の目標の設定について、単元の背後にある本質的な問いの重要性と、問いをもとにして各セクションを構成する単元指導計画の作り方について、発表していただきました。参加者からは「生徒を自発的な探究へと動かす essential questions からの逆向き授業立案の重要性を、実例を見る形で実感することができた。」などの感想がでました。



【協議】「外国語の授業における探究的な学びとは」

午後の協議では、研究授業の授業案や、発表の内容をもとにして、上記のテーマで協議を行いました。参加者からは、普段の授業での実践の交流や、探究的な学びにおける ICT の活用など、多様な視点で意見が出て、活発な協議となりました。

参加者からは、「研究協議で他校の実践を知って、刺激になった。」や「協議することで探究的な学びについての理解がさらに深まった。」などの感想がでました。



セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 授業における課題の設定や情報収集など、ICT の活用も含め、自身の授業改善を様々な視点で見つめなおす良い機会になった。
- 探究とは、何か。英語の授業で、どう実践していくべきか、自分の中にはなかった考えが得られたので、有意義な研修だった。
- 授業参観や研究協議の中での意見交換で深めることができた。
- 英語はそもそも探究的な要素が多くあり、今自分でやっていることがすでにかなり探究的な授業だと知ることができた。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 38.5%
 - ・深まった 61.5%
- 2 今回のセミナーの内容は、あなたの授業において活用できますか。
 - ・大いに活用できる 23.1%
 - ・活用できる 76.9%